教育文化部会図書分科会の事務事業調整方針について

教育文化部会図書分科会の事務事業調整方針について別冊のとおり本協議会 に報告し、その承認を求める。

平成15年10月23日提出

津地区合併協議会 会長 近 藤 康 雄

報告第44号

協議会報告項目

教 育 文 化 部 会 図書分科会 16-9

津 地 区 合 併 協 議 会

項 目 一 覧 表

通番	項目名	幹事			幹事会確認日	備考
ш н	я н 1	1回	2回	3回	千 子 乙 准 的 口	ин 🥱
16 - 9 - 1	図書館運営方法(開館時間・休館日・利用規則等)	9/13			10/2	協議会協議項目
16 - 9 - 2	図書館協議会等	7/17			7/30	
16 - 9 - 3	図書館行事計画の作成	7/17	9/13		10/2	
16 - 9 - 4	管理業務	7/17			7/30	
16 - 9 - 5	館内サービス	9/13			10/2	協議会協議項目
16 - 9 - 6	館外サービス	7/17			7/30	協議会協議項目
16 - 9 - 7	資料購入•整理業務	7/17			7/30	
16 - 9 - 8	郷土資料収集整理業務	7/17			7/30	
16 - 9 - 9	視聴覚サービス	7/17			7/30	
16 - 9 - 10	書庫管理•廃棄	7/17			7/30	
16 - 9 - 11	図書館広報	7/17			7/30	
16 - 9 - 12	図書館建設及び改修計画等新規事業	7/17			7/30	
16 - 9 - 13	図書館情報システム	9/13			10/2	
16 - 9 - 14	図書館情報システムの更新	9/13	_	_	10/2	

協議項目	専 門 部 会	教育文化部会
関係項目	分 科 会	図書分科会

		<u> </u>	144		41 0		
	区 分	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	構成	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	村のサップ	現況	
		津市	久居市	河 芸 町	芸 濃 町	美里村	安濃町
1	図書館運営方法 (開館時間·休館 日·利用規則等)	昭和62年8月に津市及び周辺 市町村が利用対象となる「津 リージョンプラザ」内に「広域図 書館」として開館し、運営の主体 は津市が行っている。	平成5年4月に開館	昭和62年10月に開館	平成9年4月に芸濃町総合文 化センター内に図書館を開館 し、運営主体は芸濃町である。	平成6年8月1日に美里村文 化センター内の図書室として オープン。	平成8年7月「サンヒルズ安 濃」内にオープン。
	※協議会協議項目	・利用貧格 津市」、「久居市」、 「安芸郡内の町村」、「三雲町を	・利用資格 平成14年5月から 「津市」「一志町」「嬉野町」の在 住者に拡大。		・利用資格 芸濃町に在住、在勤の者。近隣の「津市」、「安芸郡内の町村」、「亀山市」、「関町」在住者など、広域で貸出を行っている。	・利用資格 特定していない。	・利用資格 特定していない。津市ほか近隣市町村の利用は3分の1を占めている。
		登録者) 18,708人(津市16,486 人、その他1,709人)	平成13年度の利用者数79,782人 年間貸出冊数301,764冊 (平成13年度実績) 蔵書冊数190,888冊(平成 4年度3月末現在) (AV) 4,380本	現在年間利用者24,712人 貸出冊数90,250冊 蔵書冊数86,054冊 (AV)974本	現在の登録者4,687人 年間貸出冊数59,807冊(内	現在の登録者2,500人(村外を含む) 年間貸出冊数49,131冊(平成13年度実績) 蔵書数約2.5万冊 (AV)840本	14年度末登録者数6,685人 (町外を含む) 年間貸出冊数64,600冊 蔵書数約80,000冊 (内AV)880本
		(火曜日から金曜日)、~午後5 時(土、日曜日) ・休館日 月曜日、第3金曜日、 国民の祝日・休日、年末年始、		・休館日 月曜日、月末日、国民 の祝日・休日、年末年始、特別	・休館日 月曜日(祝日にあたる		開館時間は午前10時から午後 6時 休館日毎月1日、火曜日、年 末年始、特別整理期間
			・職員構成 正規職員3名(有資格者2名) 嘱託職員3名(有資格者)臨時 職員4名(有資格者)専門職採 用はしていない。	・職員構成 正規職員2名(有資格者1名) 臨時職員2名(有資格者1名)専 門職採用なし。		・職員構成 館長1名(兼務) 図書館臨時 職員1名(有資格者)が中心とな り、教育委員会の職員が補充し ながら運営にあたっている。	・職員構成 館長1名、正規職員(有資格) 1名は育休中、臨時職員(有資格) 3名、育休代替(有資格)1 名、夏休みのみアルバイト職員 2名。専門職採用なし。

調整の内容

1. 市 町 村 の 現 況

構	成	市	町	村	0	現	況	調整の具体的内容
香良洲町		一 志			山 町		美 杉 村	
平成6年に「サンデルタ香」 洲」内に「きらめき図書館」と オープン。 ・利用資格 特定していない	してに	こ地域福祉施設「と −志」内に開館した	平成9年7月 ことめの里 。	コーナーとして 行っている。 平成16年1 称)白山町総	公民館にて図書 で貸し出し業務を 1月からは、(仮 合文化センター内]書館」として開館。		年に美杉村総合開発 内に図書館を開館。	
県下OK。	単ら	利用負格 一志叫 助、在学の者。平成 らは広域貸出として 野町の住民にも貸り	え14年5月か 、久居市・嬉					
平成14年3月末現在 登録者数4,008人 年間貸出数39,976冊 蔵書冊数(図書)38,068 (AV)1,145本	冊	平成14年度の利 官者数80,999人 貸出人数26,86 貸出冊数95,59 蔵書冊数約76,0 (AV無)	4人 4冊	(AV無) 平成16年1	数約1,700冊 1月図書館開館当 ,000冊で、最終 5定(AV有)。	地域公 7館=1,	書館約600冊	
明於吐服 0 00 17 00	V E			88& > n+88 Ti		BB 松 口		
・開館時間 9:00~17:00 季7・8月は9:00~18:00 ・休館日 火曜日・祝日(土E 重なった場合は開館)・毎月 日・特別整理期間(6月下旬 毎月末日、年末年始) ヨと 末 曜	開館時間 午削10 寺 休館日 火曜日・4 曜日・国民の祝日・ 訓整理期間	毎月最終木 年末年始・特	~午後5時(月 ・休館日 現花 ・休館国民の祝 ・新前10時~ ・新前10時~ 金)、休館日に と同じ予定(た	日曜日~金曜日) 王、土曜日、日曜 日、年末年始	4時30分 ・休館日 12月29	午前8時30分〜午後 ・(月曜日〜金曜日) 1月1日から3日まで 日から31日までと、土 曜日・国民の祝日・休日	
・職員構成 館長1名、正規職員1名(4 格者)臨時職員1名、土日ア バイト司書1名(2名とも無資 者)。専門職採用なし。	i資 ル 名	職員構成 館長1名(兼務)、 名(有資格者)、臨 有資格者)、専門服	寺職員3名	・職員構成 ・新図書館開 人数を検討中	館に向けて、必要 1。			

協議項目	専 門 部 会	教育文化部会
関係項目	分 科 会	図書分科会

<u> </u>	分				構	成	市		町	村		<i>o</i>	現				
区	77	津	市	2	、居 市		河	芸 町			芸 濃	町		美里:	<u>村</u>	安濃	町
2 図書館		図書館法第十 づき設置された「 館の運営に関し 応ずるとともに、 書館奉仕につき 意見を述べる」こ いる。	館長の諮問に 図書館の行う図 、館長に対して	同左			同左			同左			_			津市に同じ	
		現在、定数10 年、年3回の会談 る(うち1回は他は・ ・報酬額 8,800F ・委員構成 学校関係者2名 係者2名、学識系	議を開催してい 館視察等)。 9 3、社会教育関 経験者2名	現在、定数年、定数年、定数年、1000000000000000000000000000000000000	会議を開作 は他館視察 900円 代表2名、社名 名、社会教 重営審議会	催してい 社会教育 育委員1 養委員1	久居市に同 ・報償額 6,9(・報員構成 ・委員模関経 ・・委員で関議経験	00円、社会教		年、年2回 る。 ・報償額 (・委員構成	の会議を 6,900円 で で、社会	以内、任期2 を開催してい 会教育関係				定数10人以内、型任期1年。 ・報償額 6,900円 ・委員構成 学校長2名、幼稚 TA会長1名、ボランループ1名、老人会 者4名 計10名	園長1名、P ティアグ 長1名、利用
3 図書館 作成		開館以来、様々に根ざした行事と 会」「映画会」「ビ「図書夏休み親子 体み人形劇大会等、図書館は大会等、の書館はは で図書ので年 る。そ書にいる。	デオ講習会」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ーと学し会」と 事文会」を館には 会」を館にして 会」をでして を開いて を開いて でして でして でして でして でして でして でして でして でして でし	「絵本原対 」、幼児出前 ではいる。 ではいる。 ではいる。 でもない。 でもない。 でもない。 でもない。 では、 ではない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	「展」「児童 象「おはなし た、駅前 親子をし はなし はなし	図書館行事会」「古典文学ンサート」等を郷土資料室係上、その他でいる。	▲講座」「☑ ・行ってい を併設し	図書館コ る。 ている関 示を行っ	プによる「ない。」 「親子折り」 在まで続い 図書館は の中にある様々な行	おはなり、総会には、総合にはなる。	文化センター 設であり、	ボランティ	–	月1回2つの プによる「お こいる。	図書館行事として アグループやまびこ 1回の「おはなし会」 本の読み聞かせをし	会による月 を開催し、絵
4 管理業		予決算、人事管務、支払事務、成 務、支払事務、成 議会の事務、文 書館法第三条の 業務を遂行してし	□ 報、展示、協 書の収受等、図 □ 範疇に入らない		勧等図書館 入らない業 設の維持管	言法第三 義務を遂行		る(施設の		会の事務、 館法第三章 務を遂行し	文書の 条の範疇 ノている。 決算、支	払い事務は、	として独立	としたもの [~] 管理費の中		文書収受事務、協図書館費予算執行: 書館法第三条の範! 業務を遂行している 持管理は、サンヒル 括管理している)。	事務等、図 懤に入らない (施設の維
5 館内サ ※協議		・館内閲覧サート・視聴覚資料閲覧・レファレンスサート・文献複写サート・読書相談サート	覧サービス −ビス ≟ス	同左			同左			同左			同左			同左	

調整の内容

- 2. 新たに制度を制定する(合併と同時) 3. 新たに制度を制定する(合併と同時) 4. 新市に移行後、速やかに調整する。(合併後1年程度)

構成	市	町	村	Ø	現	況		調整の具体的内容
香 良 洲 町	_ - 7	志 町		山 町		美杉林	†	
	おり、現在6人、 回の会議を開催 回は視察)。 ・報償額 5,000 ・委員構成 学識経験者2: 表1名、社会教)人以内となって 任期2年、年3 としている(うち1 円 名、小中学校代 育団体代表者1 :員1名、公民館	年6月に「(仮記)を 5月に「(仮記)を 5月にの 5月にの 5月にの 5月にの 5月にの 5月にの 5月にの 5月にの	きもって委員となっ のある期間とす 円。 1名、教育委員長 け表1名、町民代	_			・新市において新たに協議会を組織する。
図書館行事として年2回一般 向・児童向の「映画鑑賞会」、定 例の「お話会」「おりがみ教室」開 催している。	ア・職員による「	会、休館日に催	会」、「講演会」	後は、「おはなし 」、などを行う予	_			・新市の事務取扱い要領に基づき、広報活動は統一して行っていくが、リーフレットの作成等については各館個別に行っていく。 ・「おはなし会」、「映画会」等の経費負担の少ない行事については、各館ごとに実施していくが、「講演会・講座」等の予算措置の必要な事業については、年間行事予定計画を作成し、実施していく。
書の収受等、図書館法第三条の範疇に入らない業務を遂行している。	る。 施設の維持管等)は、複合施設の里一志」でいる。	広報、展示、協 書の収受等であ 理(予算、修繕 設のため「とこと 一括して行って	務を行う予定。					・合併後の事務の取扱いは、津市の例により調整する。
同左	同左(ただし、視 サービスを除く) ・団体貸出サー		津市に同じ(予	5定)	•文献複	覧サービス 写サービス 資料閲覧サー	-ビス。	

協議項目	専 門 部 会	教育文化部会
関係項目	分 科 会	図書分科会

			市町	村の		
区 分	津市	久 居 市	河 芸 町	芸 濃 町	美 里 村	安 濃 町
6 館外サービス ※協議会協議項目	・館外貸出サービス ・視聴覚資料貸出サービス ・相互貸借サービス ・予約・リクエストサービス ・団体貸出サービス ・インターネット検索サービス ・パンフレット、広報作成 ・障害者への郵送貸出サービス	同左	津市に同じ 但し、ビデオの貸出は行っていない。	・館外貸出サービス ・相互貸借サービス ・予約・リクエストサービス ・団体貸出サービス ・インターネット検索サービス ・パンフレット、広報作成」 なお、視聴覚サービスの館外貸出は、ソフト数が少なく、館外貸出をすると館内で見てもらうのに支障が出てくること、弁償の問題などから、芸濃町では、館内視聴のみ、行っている。なお、2001年4月から、ソフトは、DVDを中心に購入している。		・図書館外貸出(ビデオを除く) サービス ・相互貸借サービス ・予約リクエストサービス ・団体貸出サービス ・インターネット検索サービスの 実施 ・広報掲載、ちらし作成
	について」(市長決済)及び「昭和61年4月12日付津市図書館の図書購入契約方法について」(市長決済)に基づく。購入する資料の選定については図書館長が所管する「選書会議」の議をへて図書館長が決済している。 購入先は、先の市長決済によ	て、図書館長の決裁を得ている。 購入先は、通常は「久居市書籍納入組合」から「定価内で図書の整備を施して」購入しているが、資料収集の性格上、他の業		購入先は、町長決済により通	の職員と協議しながらの購入している。	・図書購入 主に、図書流通センターを経由 し、安濃町図書館納入協力会よ り購入。 図書館職員が選書し、金額に より決済している。 ・購入冊数 年間5千冊程度。資料購入は 650万円。

調整の内容

6. 7. 新市に移行後、速やかに調整する。(合併と同時)

構成	市町	村の	現 況	調整の具体的内容
香良洲町	一志町	白山町	美 杉 村	間正以来 (予り) (合
・館外貸出サービス ・視聴覚資料貸出サービス ・相互貸借サービス ・予約・リクエストサービス ・パンフレット、広報作成 ・インターネット検索サービスは 未実施	・館外貸出サービス ・相互貸借サービス ・予約・リクエストサービス ・団体貸出サービス ・パンフレット、広報作成	・館外貸出サービス ・相互貸借サービス ・予約・リクエストサービス ・団体貸出サービス ・インターネット検索サービス ・パンフレット作成 ・障害者への郵送貸出サービス	・館外貸出サービス ・ビデオ貸出サービス ・地域住民センターミニ図書サー ビス	
・図書購入 選書はTOR発行の新刊全点 案内を中心に利用者の意見を 聞き司書が行っている。 ・購入冊数 年間資料費は50万円(平成1 5年度当初)。年間330冊程度。	・図書の購入 一志町会計規則等に基づき 「一志町立図書館図書納入組合」より装備済みのものを定価 により購入している(一部例外あり)。 選書についてはTRC(図書館 流通センター)発行の「新刊全点 案内」を中心に各職員の要望を 聞き、最終決済は館長が行って いる。 ・購入冊数 平成14年度資料費800万円。 年間4,400冊程度。		•図書購入 1年間300,000円。	・合併後、資料整理業務は速やかに統一するよう調整し、配架分類については、当分の間、合併前の方法を継続するよう調整する。

協議項目	専 門 部 会	教育文化部会
関係項目	分 科 会	図書分科会

区分		***	成	市		町	村		の	現	況	
	津市	久 居 市			芸田			芸 濃			美 里 村	安濃町
	の資料要求に応えてきた。 収集資料は大きく明治を境に 分け、明治以降の資料を「郷土 資料」とし、それ以前の資料を 「古文書」として取り扱いそれぞ	「信藤家大庄屋文書」「引き、	につ てい 大居 郷土	しているため じめ、民具、 ている。 現在未整理	、埋蔵文 農具、漁 ೬。町史組	具も保有し編纂のため	の資料要 収集資料 料を取り扱	求に応 は主に	集にでいる。 また できた できた できた できた できた できた できた の できた できます できます できます できます できます できます できます できます	し、利力	で資料の収集に努め、保存 用者の要求に応えてい	事 (は222冊所蔵。一部、 理蔵文化財(日本最古の刻書土 器等)も保存している。

調整の内容

8. 現行のまま新市に引き継ぐ。

書食 州 割	構成	市町	村の	現 況	調敷の目状的内 索
いる資料のほとんどが市町村史 館のため、郷土資料については、白山町郷土資料 は蔵文化財をはじめ、郷土資料 は蔵文化財をはじめ、郷土資料 は蔵文化財をはじめ、郷土資料 は蔵文化財をはじめ、郷土資料 は蔵文化財をはじめ、郷土資料 は蔵文化財をはじめ、郷土資料収集委員会等は統一する。 の収集、整理、保存を行っている。 での所蔵数は約600冊となっている。 の収集・整理・保存を行っている。 のは	香 良 洲 町	一志町	白山町	美 杉 村	神童の共体的2分
	香良洲町 現在郷土資料として別置して いる資料のほとんどが市町村史 および美術館等の目録である。 その所蔵数は約600冊となっ	一志町 平成9年の開館の新しい図書館のため、郷土資料についてに 意欲的に資料収集しているが、 昭和30年以降の合併後の行政	白山町 現在は、郷土資料の収集・保 管については、白山町郷土資料館において専門員を配置し、利 和者の資料請求に応えている。 図書館開館後は、図書館においても資料の収集・整理・保存を行っていく予定。 年々資料が増加する傾向にあ	美 杉 村 美杉ふるさと資料館において、 埋蔵文化財をはじめ、郷土資料 の収集、整理、保存を行ってい	合併前の方法を継続するよう調整する。

協議項目	専 門 部 会	教育文化部会
関係項目	分 科 会	図書分科会

ļ						
		144-	<u> </u>	+1 -		
区分		***	<u> </u>	村の	現況	
	津市	久 居 市	河 芸 町	芸 濃 町	美 里 村	安濃町
9 視聴覚サービス	図書館法第三条(図書館奉仕)の第一項、第六項に基づき 資料の収集整理、閲覧、貸出 (年間約23,000点)、上映 サービスを実施している。 また、津市視聴覚ライブラリー を併設し教育団体への機器及び 資料の貸出を行っている	駅前図書館で図書館法第3 (図書館奉仕)の第一項、第7 項に基づき資料の収集、閲覧 貸出を実施している。	条館内利用のみ行っている。	図書館法第三条(図書館奉仕)の第一項、第六項に基づき 資料の収集整理、閲覧を実施している。	ビデオの貸し出し、図書室での 閲覧サービスを実施している。	根聴覚資料については館内のみ利用としている。
10 書庫管理·廃棄	現在、順次汚損、破損資料の廃棄は行っている。 また、年に1度特別整理期間中に津市図書館資料除籍基準に従い約8,000冊ほど除籍を行っているが、書庫は満杯になってきている。 除籍資料については、会計規則を変更し、市民にリサイクル出来るようにしている。	資料保存の面で慎重を期する 要があるため、積極的な廃棄 実施していない。	は 状態であり、図書の除籍、廃棄る必 が課題となっている。	現在雑誌の保存期間は、週刊誌が1年・雑誌が3年で廃棄し、年に1回リサイクルフェアを開催し、再利用してもらっている。なお、郷土・子どもの雑誌は水久保存しま、旅行書やら書など改訂版がでる毎に随時廃棄している。しかし、現在書庫が収容冊数に近さつも保存期間を検討し、(東存期間は定めてない)廃棄していく必要がある。	書架は満杯状態で閉架書庫もない。	雑誌(児童雑誌以外)・新聞 (中日新聞、伊勢新聞以外)は1 年保存で廃棄となり、関連公共 施設での利用およびリサイクル フェアで再利用している。図書に ついてはほとんど廃棄していな い。 書庫の容積量も限界になりつ つあり、書籍の管理について長 期的な計画が必要となってい る。

調整の内容

- 9. 新市に移行後も、当分の間現行のとおりとし、随時調整する。(合併後3年程度)
- 10. 新たに制度を制定する。(合併と同時)

構成	市町	村の	現	況	調整の具体的内容
香 良 洲 町	一志町	白山町		杉 村	
AV資料所蔵数は1,145本で その大半がVHSビデオテープと なっている。 館内視聴ブースが5席あるが 開館7年目を迎え、機器の老朽 化が進んでいる。		図書館開館後は、館内ののみを行っていく予定。	の利用		・ 資料収集については速やかに統一するよう調整する。
き教室を利用して念願の閉架書庫が完成。約3,000冊の書籍が収まっている。 明架部分と離れているため利用者から貸し出し希望があった場合取り出しに時間がかかるのが難点である。	館内の閉架書庫にて管理しているが、後数年で満杯になる予定である。その後の施設増設の計画はない。現在、雑誌については保存年数を決め、規定年数以上のものは、昨年度の方に活用していただいている。	いては、35,000冊を予定し	てい		・合併の際にどの館がどの資料を保存するか分担を決める。・将来保存の為の施設拡張も検討する。

協議項目	専 門 部 会	教育文化部会
関 係 項 目	分 科 会	図書分科会

		 構 成		 村 の		
区 分	津 市	久居市	河芸町	芸濃町	美里村	安濃町
11 図書館広報	図書館の行事内容や連絡事項を市広報に1ページ分載せており、ホームページでも行事の案内を行っている。年3回図書館だよりを発行している。	図書館の行事内容や連絡事項を市広報に1ページ分載せている。 単独の「図書館だより」は発行	ホームページ、町広報等で	現在、広報活動としては、町の	村広報、リーフレット等で行っている。	町広報で新刊案内等を行っている。他に図書館たより「本とのはなし」を低学年用(幼稚園、1年、2年)、高学年用(小3年から中3年)、一般用、生涯学習用の4種類を月ごとに作成配布している。また、1歳半検診、3歳児検診では絵本の紹介チラシを配布している。
12 図書館建設及びる 修計画等新規事業	· ·		15年度児童コーナー改修予 定。			
13 図書館情報システム	- システムでの業務内容 ・図書の貸出、返却、予約、検索、登録 ・雑語者検索、登録 ・利用者検索、登録 ・和の資惠を ・和の資惠を ・和の資本を ・和の資本を ・和ので ・利ので ・利ので ・一ので ・一ので ・一ので ・一ので ・一ので ・一ので ・一ので ・一	システムでの業務内容 ・図書の録録、検索、・	システムでの業務内容 ・図書の貸出、返却、予約、検索、登録 ・雑誌検練、登録 ・競書点模、リクエスト管理 ・発種統計、督伊の大工の大管理 ・各種が一、、情報管理、広報処理 ・経済を移動処理 ・三重県図書館総合目録示・相 互貸借		システムでの業務内容 ・図書の貸出、返却、予約、検索、登録 ・雑誌検索、登録 ・利用者検索、登録 ・AV資料貸計、資料検索 ・人と資料を表して、資料検索 ・・蔵書にでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	システムでの業務内容 ・図書の貸出、返却、予約、検索、登録 ・雑誌検索、登録 ・利用者検索、登録 ・AV資料館、管理 ・蔵書点管理、リクエスト管理、継続資料管理 ・各種統計、ベストリクエスト、ベストリーダー、情報更、除籍/移動処理 ・地域情報システム、三重県図書館総合目録データで一スへの情報提供、検索・相互貸借

調整の内容

- 11. 新たに制度を制定する。(合併と同時)
- 12. 新たに制度を制定する。(合併後1年程度) 13. 新市に移行後も、当分の間現行のとおりとし、随時調整する。(合併後3年程度)

構成	市町	村の	現 況	調整の具体的内容
香 良 洲 町	一志町	白山町	美 杉 村	砂正 V 共 仲 い け 仕
夏休み、冬休みに児童向け「き	書館だよりを掲載、又町営ケー	図書館開館後は「図書館だより」などを発行予定。	図書館開館後は「図書館だより」などを発行予定。	・合併後は、統一して広報活動を行う。リーフレットの作成等は個別に行って行くよう調整する。
_		平成15年4月に文化・教育施設開設準備室が発足、(仮称) 白山町総合文化センター内に図書館を併設するため、平成16年 11月会館に向け、現在準備中である。		・図書館建設については、白山町をもって終了する。・今後の改修等については、整備方針などを新たに定めていく。
ジステムでの業務内容 ・図書の貸出、返却、予約、検索、登録 ・雑誌の貸出、返却、予約、検索、登録 ・AV資料の貸出、返却、予約、検索、登録 ・高を理・各種統計 (日報,月報,年報) ・地域情報システム 三重県図書館総合目録 データへニスへの情報提供、検索、相互貸借 ・図書館流通センターへの発注、マークダ・ウンロート・	・雑誌検索、登録 ・利用者検索、登録 ・利用者検索、登録 ・利用統計、CD-ROM検索 ・蔵書点検、管理 ・相互貸管理、リクエスト管理、継続資料管理 ・各種統計、督促処理、ベストリーダー、情報検索、データ退避、システム管理、広報処理、除等/移動処書館総合目録デ・相互貸借	・システムでの業務的、返却、検索、登録・雑誌検索、登録・利用統計、資料の資出、予算を表別の資明を表別の資明を表別のでの業務的、返却、予報の資明を表別の資明を表別のでは、一個のでは、、「」のでは、「」のでは	現在なし。 平成16年度中に各図書館共 通の情報システムで歩調を合わ せたい。	・合併時には各館ごとのシステムで対応するが、将来的にシステムを統合する方向で調整する。

協議項目	専 門 部 会	教育文化部会
関係項目	分 科 会	図書分科会

- A			 構		市	町	村	0		
区 分		市	久 居	市	河	芸 町	芸	濃 町	美 里 村	安濃町
ムの更新	·導入時期 H10	H15年10月 iliswingクライア	久 居 ・導入時期 H10 ・リース満了時期	市 年3月 H15年2月 iswingクライ	河 ・導入時期 H ・リース満了時	芸町 10年7月 打 H15年7月 ILIS/X10EX	芸・導入時期 F・リース満了時	濃 町 H14年4月 寺期 H19年4月 通 iliswing21クラ	美里村 ・導入時期 H13年6月 ・リース満了時期 H19年4月 ・機種 富士通iliswing21NXク ライアントサーバー方式	安 濃 町 ・導入時期 H14年9月 ・リース満了時期 買取 ・機種 富士通iliswing21NXク ライアントサーバー方式

調整の内容

| 14. 新市に移行後も、当分の間現行のとおりとし、随時調整する。(合併後3年程度)

香艮洲町 一志町 日山町 美杉村	構成			現況	調整の具体的内容
・リース満了時期 H16年9月 ・リース満了時期 H19年5月 ・導入時期はH16年4月 ・機種 富士通iLiS/X10EXクラ ・機種 富士通iliswing21NXクラ ・リース満了時期は合併後システム統合を行うことを考慮して契約する。 イアントサーバー方式 インターネット環境整備については現在検討中。 では今年度に予約・リクエストの受入、館内での新聞有料データベース等の開放を計画中であ ・機種については現在検討中。 では現在検討中。 では、金属での新聞有料データ での新聞を計画中であ			白 山 町	美 杉 村	
	・導入時期 H11年9月 ・リース満了時期 H16年9月 ・機種 富士通ILIS/X10EXクラ	 ・導入時期 H14年5月 ・リース満了時期 H19年5月 ・機種 富士通iliswing21NXクライアントサーバー方式 インターネット環境整備については今年度に予約・リクエストの受入、館内での新聞有料データベース等の開放を計画中であ 	なし 入時期はH16年4月 -ス満了時期は合併後シス 統合を行うことを考慮して契 る。		・合併時には各館ごとのシステムで対応するが、将来的には図書館間のネットワーク網を整備する方向で調整する。